

## 平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	筑波大学		
プログラム名称	ヒューマニクス学位プログラム		
プログラム責任者	清水 諭	プログラムコーディネーター	柳沢 正史

### 〔採択理由〕

本プログラムは、筑波大学の優れた教員集団が、生命医科学と理・工・情報学の共同体制によってバイディシプリン教育やプレアドミッションから大学院へつなぐシームレスな一貫教育を行い、生命の恒常性の原理及び「ヒト」の生理と病理を明らかにし、「人」の快適で健康な生活を実現する科学・技術を生み出す「ヒューマニクス」領域におけるリーダー人材を育成するというものであり、筑波大学の強みである研究拠点群をはじめ学外の研究拠点や海外大学、民間企業と連携した、分野横断的で最先端の卓越したプログラムである。

新たな学問領域である「ヒューマニクス」の創生という世界的にも先端的なテーマを掲げ、生命医科学と理・工・情報学に関する包括的な専門的知識・技能を習得させる仕組みをバランスよく構築している。博士課程教育リーディングプログラムや世界トップレベル研究拠点（WPI）等の成果を本プログラムに取り入れて企画している点も評価できる。特別共同研究事業、社会人特別選抜、スポンサーシップ制度を中心に、多角的にプログラムの継続を図ろうとしており、また、補助期間終了後の自走化に向けた具体的な計画も示されていることから、継続性・発展性も認められる。学長を中心とした体制を組み、全学を挙げた組織再編等の取組の一環として位置付けられていることもうかがえる。

プレアドミッションプログラム、完全ダブルメンター制、リバーズメンター制など、優秀な学生をひきつけ教育効果を上げるためのカリキュラムの工夫もよく考えられており、本プログラムが目的とする高度な「知のプロフェッショナル」の育成が期待できる。